
KOREA Report

July 2015

CONTENTS

- * Project 1: SPELLO FLAGSHIP STORE
- * Project 2: LAB O

1. SPELLO FLAGSHIP STORE

Project Overview

時間が経つにつれ、価値を加えて靴を作ることがブランドの哲学的である SPELLO は THE BASIC HOUSE(韓国ローカルブランド)が新たに立ち上げたシューズブランドである。デザイナーは町を通る人々の視線を捕らえるために「秘密の金庫」というユニークなデザインコンセプトを空間に適用し、ファサードデザインに「SPELLO に心を奪われた泥棒が建物を爆破させた後、金庫から靴を盗む。」という話を入れた。ショーウィンドーに主力商品を展示する一般的なファッションブランドとは違って店舗のストーリーテリングで人々に強い印象を残すという戦略が興味深かった。

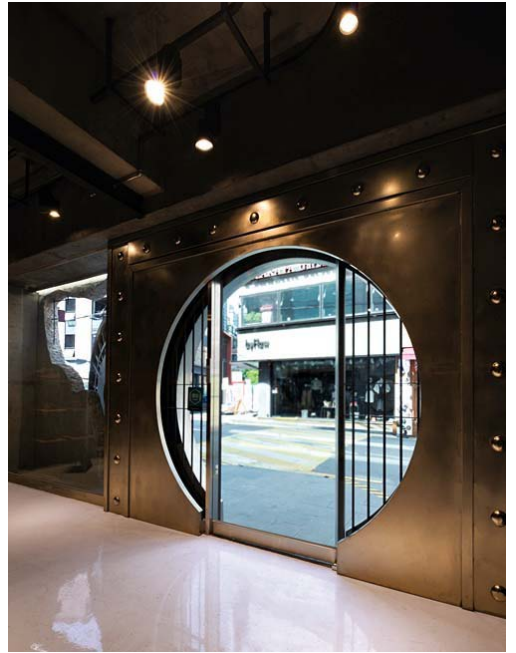
建物が爆破された形態は SPELLO のロゴを形成していてファサードは銀行の大金庫にデザインされていた。金庫というコンセプトは空間の内部でも一貫して適用されていた。銀行の窓口を連想させるキャッシュカウンターとその後ろの壁を埋めている個人金庫が店を訪れている人にプライベート銀行に来たような雰囲気を感じさせている。個人金庫は空間のアイデンティティを表せているだけでなく、製品のサービスにも直結している。色、材質、光沢などの顧客の注文に合わせて製作された製品を保管する用途に使用されるからだ。個別の鍵とマスター鍵で自分の金庫を開けて注文した靴を持っていくのサービスはお客様さんにユニークな体験になり、それはつまり「欲しい靴」、「自分だけの靴」というブランドイメージに伝わる。

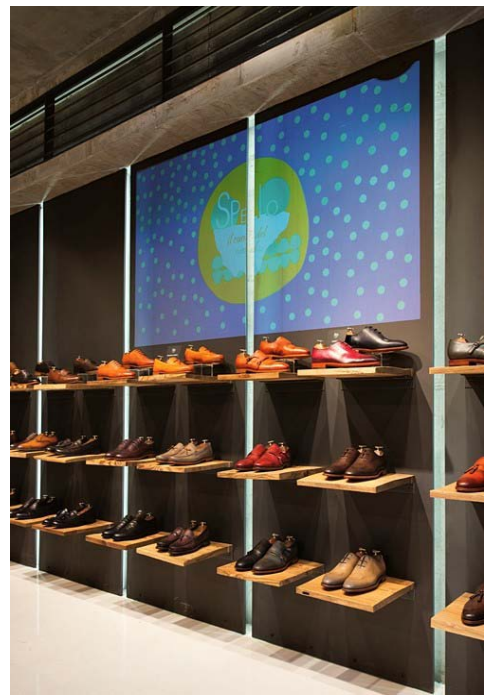
Project Details

1. Brand: SPELLO FLAGSHIP STORE
2. Type of Business: Retail Shop
3. Open Date: 4/2015
4. Size: 61m²
5. Location: 18, Dosan-daero 11-gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Location Map







2. LAB O

Project Overview

デザートカフェ Lab O の名前を初めて聞くと実験室 (Laboratory) を思い浮かべるかもしれないが、実際に空間に入ると実験室の独特な整えた感じや透け感は見られない。この空間はデザート、カフェらしく市場で出会うことができる人々のざわめきや暖かさ、ブラウニーの甘み、またスタイリッシュなキッチンに入ったように自由でありながらも忙しくて、暖かくて豊かな雰囲気満たされている。

Lab O のスペースは横幅は狭くて奥に長く入った形だが、このような形が商業空間で良い条件になることはできない。だからこの店の外に歩道に向かってベンチを置いて通る人たちがくつろげるようにして店の外からでも奥の深い空間まで一目で見えるようにしていた。そして一番奥のテーブルの上にはミラーをつけてそこからデザートを食べることまでを全て見るようにしている。食べる行為そのものをディスプレイに活用して食べ物を作り、それを選び、最終的に食べる行為が全てこの空間のブランドアイデンティティとして使われている。

Project Details

1. Brand: LAB O
2. Type of Business: Restaurant
3. Open Date: 2/2015
4. Size: 414m²
5. Location: 1F, 91-6, Nonhyeon 2-dong, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Location Map







